床材の選択、保管・運搬、施工上の注意点

床材の選択、保管・運搬、施工にあたっては、サンプル帳、技術資料、各種カタログ、施工マニュアル等の記載事項を必ずご一読ください。製品の誤った取扱いや危険な取扱いは、人と物に損害を与えるような思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。当社製品をご指定いただきましたお客様にあっては、事故を未然に防止するためにも、使用者に対して正しい使用方法を周知徹底させてくださるようお願い致します。何か疑問点やお困りの点、あるいは各種カタログ、各種技術資料の請求などがありましたら、弊社担当営業者までお申し付けください。

床シート・タイル（ビニル床シート・ビニル床タイル等）

選択上の注意点

❶ 建築基準法・消防法によって使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令・法規をご確認ください。
❷ それぞれの用途における床材の選択には、種類、意匠、耐久性、防滑性を考慮して選択してください。
❸ 防滑性能は、人の履物、歩行状態（早足か大股かなど）や床材に水や砂があるかないか、またワックスの種類は何かなどの環境によって左右されますので、使用場所によって床材の選択が重要となります。床材の適材適所表を参照して選択してください。
❹ 病院などにおける抗菌性能、あるいはコンピューター室、手術室における制電性能など、特殊性能を必要とする場合には、その性能、使用方法を各製品の技術資料でご確認・ご理解いただいた上で、機能性床材製品の中から選択してください。

お 願 い

❶ 下地から絶えず湿気の上昇が予想され、しかも改善の可能性のない場所での使用は避けてください。
❷ 印刷物のため製品の色調が実物と多少異なる場合があります。ご採用の際は必ずサンプル帳などでご確認ください。
❸ セルフレベリング下地（SL下地）は、せっこう系とセメント系がありますが、コンクリート・モルタル下地と比べるとせっこう系は強度が弱く、ビニル床材の下地としては適しません。セメント系はせっこう系に比べると強度はありますが、コンクリート・モルタルと比べると弱いのでご注意ください。特に強度については確認の必要があります。

保管・運搬上の注意点

❶ 重量物ですので、取扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取扱いは、床シート、床タイルの破損を招くだけでなく、傷害や器物破損などの事故を招く場合があります。
❷ **転倒注意・立入禁止**
床シートはロープなどで柱にとめ、転倒による人災事故、器物破損を避けてください。また、関係者以外の立ち入りを禁止してください。

お 願 い

❶ 床シートは、梱包を解かずに平坦な場所にまっすぐ立てて保管してください。斜めに立て掛けることによって角に集中荷重がかかり、変形する可能性があります。どうしても横置きにしなければならない場合は、積み重ね（俵積み）は避けて平置きとし、それもできるだけ短期間で済むように配慮してください。
❷ 床タイルは、梱包を解かずに平坦な場所に保管してください。積載は70㎝位までを限界（サインタイルの場合は4段以下）としてください。積み過ぎは落下や変形の原因となります。
❸ 床シートは運送中に荷崩れしないようにコッター・ひも等で結わえてください。
❹ 長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは避けてください。変形・変色・変質の原因となります。
❺ 床シート・床タイルの上に他の物品を積載しないでください。材料の変形・破損の原因となります。

施工上の注意点

❶ **火気厳禁・有害性**
有機溶剤を含んだ接着剤等を使用する場合は火気厳禁とし、室内の換気を行なってください。作業にあたっては、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行なってください。有機溶剤は、多量に摂取すると人体に影響を及ぼす可能性があります。必要に応じて、保護手袋等の保護具を使用してください。
❷ **立入禁止**
施工中は、他業者による汚損、事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。また、施工中・施工後に接着剤等の臭いが残ることがありますので、換気を十分に行なってください。
❸ **投棄禁止**
床シート・床タイルの残材、使用済み接着剤容器は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると有害ガスを発生する場合がありますので、焼却はしないでください。梱包紙、梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。

お 願 い

❶ 梱包紙あるいは梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。
❷ 施工前に、ロンリウムSRG、ロンリウムSRG-UV、FAスタック、FAスタックR、耐動荷重シート パワーSRG、耐動荷重シート パワーFA、耐動荷重CDリウム、耐動荷重CDリウムR、ロンクリーンリウムFA等は巻きぐせを取るためにロールを広げて養生してください。
❸ 下地は湿気がなく、平坦で強度があることが必要です。湿気の目安はケット水分計による測定で440未満（HI-520およびHI-520-2）です。施工条件を遵守しなかった場合、目地すきや突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。
❹ 接着剤の上澄みが分離していることがありますので、使用前には均一になるように、よく攪拌してください。接着不良の原因となる場合があります。
❺ 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染を発生させる可能性があります。完全に除去した上で、施工を開始してください。
❻ 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、ロンシール指定のクシ目ゴテで均一に塗布してください。すり減ったクシ目ゴテを使用すると所定の塗布量が得られませんので、目立てをするか新しいクシ目ゴテを使用してください。
❼ 床タイルは使用温度に近い温度で施工してください。10℃未満での施工は厳禁です。室温と床タイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地すき、突き上げなどを起こす可能性があります。
❽ 床タイルの裏地に表示されている矢印の向きを確認して施工してください。逆目に施工すると色相が異なって見える可能性があります。ロンタイルOA（500㎜角製品）は市松張りを標準とします。
❾ オーバータイムは接着不良の原因となりますので、施工時の気温、湿度、通風等を考慮の上、一回の塗布面積、塗布後のオープンタイムに特に注意してください。
❿ 施工後は、ローラー等で十分に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、床材の反り、剥がれ、膨れ、突き上げなどが生じることがあります。
⓫ 施工後、引き渡し前に、ロンシール推奨のワックスで初期メンテナンスをしてください。（ノーワックスシリーズ、特殊用途を除く）

タイルカーペット

選択上の注意点

❶ 建築基準法・消防法によって使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令・法規をご確認ください。
❷ それぞれの用途におけるタイルカーペットの選択には、種類、意匠、耐久性、機能性を考慮して選択してください。
❸ 電算室やOA機器が多く設置されたオフィスなど、特に高い制電性が求められる部屋では、その仕様に応じた制電タイプのタイルカーペットを選択してください。

お 願 い

❶ 乾燥した室内など、静電気の発生しやすい場所では、制電性の良いカーペットを選択してください。
❷ 防汚マークは、製品の防汚性を示す目安です。用途に応じた防汚性のタイルカーペットを選択してください。
❸ 直射日光など、環境条件によって変褪色の可能性があります。
❹ 印刷物のため製品の色調が実物と多少異なる場合があります。ご採用の際は必ずサンプル帳などでご確認ください。

保管・運搬上の注意点

❶ 重量物ですので、取扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取扱いは、タイルカーペットの折れや端部の変形など品質を低下させるばかりでなく、傷害や器物破損などの事故を招く場合があります。

お 願 い

❶ タイルカーペットは、梱包を解かずに平坦な場所に、保管してください。積みすぎや雨水などによる水ぬれを避けてください。変形・変色・変質・汚染・弛みやパイルのへたりなどの原因となります。

施工上の注意点

❶ **立入禁止**
施工中は、他業者による汚損、事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。また、施工中・施工後に接着剤等の臭いが残ることがありますので、換気を十分に行なってください。
❷ 施工後、台車や家具の往来によって過度の応力がかかると、タイルカーペットがはがれることがあります。重量物を移動させる場合には、合板などで保護してください。
❸ タイルカーペットの残材、使用済み接着剤容器は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると有害ガスを発生する場合がありますので、焼却はしないでください。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。

お 願 い

❶ 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。
❷ ロンシールの指定接着剤を使用してください。
❸ 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適度な施工環境を維持してください。施工条件を遵守しなかった場合、目地すきや突き上げ、膨れ、臭気などを招く可能性があります。
❹ 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始してください。
❺ 市松張りを標準とします。ただし、階段は流し貼り、踊り場は指定がない限り市松張りを標準とします。
❻ ロンシール指定接着剤はピールアップ性を確保するために、塗布後、透明になってから張り付けを開始してください。
❼ タイルカーペットの裏地に印刷されている矢印の向きを確認して施工してください。逆目に施工すると色相が異なって見える可能性があります。
❽ 目地にパイルを挟まないように注意してください。目地すきや目地段差の原因となります。

施工・メンテナンス
床材の選択、保管・運搬、施工上の注意点